

安全性の確認されない

米牛肉の輸入再開

国民の命より「日米同盟」



どうもアメリカはいない

米牛肉の輸入再開の問題でも、米軍基地の強化・永久化や自衛隊のイラク派兵延長でも、「ブッシュの忠犬」そのままの小泉内閣の対米追従は目に余ります。
アメリカばかり見ている日本のアジア外交は行き詰まり、孤立を深めるばかりです。

在日米軍再編 日本が全額負担

誤情報でイラク開戦

米大統領が認める
大量破壊兵器の保有なし

米産牛肉の輸入再開
政府決定 安全確認、実効性なし

国民の命まで
米国にあずけるのか



日米同盟＝安保最優先の悪政ここまで

米軍支援の「思いやり予算」2年継続も決定

安保条約上、日本の負担義務のない米軍支援の「思いやり予算」。来年3月で期限切れを迎える「特別協定」はまた2年間延長、来年度予算に2,326億円を計上。一方、不況に苦しむ「中小企業対策費」はバツサリ削ってわずか1,555億円。

医療費の国庫負担を2,737億円も削減するなど、国民に負担増と増税を押し付ける一方で、米軍には至れり尽くせりのサービス……

イラク開戦のウソをブッシュも認めたのに……

それでもイラク戦争を支持、

自衛隊派兵は継続 小泉内閣・自民・公明

●イラク開戦の口実が嘘だったことをブッシュ大統領自身が認めたというのに、無茶なイラク侵略戦争をいち早く支持した小泉内閣と自民・公明は、今も反省も釈明もせず、12月14日で期限の切れた「イラク特措法」の再延長を強行して、自衛隊派兵を継続しました。